

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(1)	古典派	古典派の時代 もよい。	3
		(2)	(ア), (ウ)	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	4
		(3)	(エ)		2
		(4)	※ 別紙 (計1枚)		40
	2	(1)	(エ)		各 3 × 6
		(2)	(キ)		
		(3)	(オ)		
		(4)	(イ)		
		(5)	(ウ)		
		(6)	(ア)		
	3	(1)	(キ)		各 3 × 6
		(2)	(ウ)		
		(3)	(イ)		
(4)		(エ)			
(5)		(ア)			
(6)		(カ)			

85

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名（曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって歌おう）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%; text-align: center;">時 間</th> <th style="text-align: center;">学 習 活 動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受する。</li> <li>・ 既習曲である「浜辺の歌」を踏まえ、「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、曲想、歌詞、音楽的な特徴について気付いたことを自由に話し合う。</li> <li>・ 歌詞を朗読し、言葉のリズムや抑揚を捉える。「ふるさとのきしをはなれて」の歌詞と旋律について気付いたことをワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートに書いたことを基に、学級全体で意見交換したり、実際に歌ったりして、「椰子の実」のリズム、旋律、強弱の知覚・感受を深める。</li> <li>・ 歌詞の内容や抑揚、旋律の音の高低などを基に、曲想について自分の考えをまとめ、ワークシートに書く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」の表情や味わい、歌詞が表す情景や心情などを生かした楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、自己の表現意図をもつ。</li> <li>・ 3人のグループをつくり、各自が「椰子の実」の1～3番のいずれかを歌うこととし、自分が歌う歌詞をワークシート中の楽譜に書き入れる。</li> <li>・ 「椰子の実」にふさわしい表現について、リズム、旋律、強弱に着目して考え、グループ及び個人で歌唱表現を試行錯誤する。</li> <li>・ グループとして目指す表現を話し合い、ワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートを参考にして「椰子の実」にふさわしい言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して歌いながら、自分はどうのように歌いたいかの表現意図について、ワークシート中の楽譜に書く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループとして目指す表現や自己の表現意図を意識して、「椰子の実」を歌う。</li> <li>・ 楽譜やワークシートに書いた内容を見てイメージを膨らませながら、発声、発音、呼吸法などの歌い方をいろいろ試し、「椰子の実」の歌唱表現について考える。</li> <li>・ 適宜、ワークシートに書いた内容を修正する。</li> <li>・ グループとして目指す表現や各自の表現意図などを端的に述べてから、グループごとに各自が1～3番のいずれかを独唱する形で通して歌い、学級全体で聴き合う。</li> <li>・ 演奏を振り返り、自己評価を簡潔に書くとともに、自分と同じところを歌った他の生徒の表現について、よいと思ったことをワークシートに簡潔に書く。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	時 間	学 習 活 動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受する。</li> <li>・ 既習曲である「浜辺の歌」を踏まえ、「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、曲想、歌詞、音楽的な特徴について気付いたことを自由に話し合う。</li> <li>・ 歌詞を朗読し、言葉のリズムや抑揚を捉える。「ふるさとのきしをはなれて」の歌詞と旋律について気付いたことをワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートに書いたことを基に、学級全体で意見交換したり、実際に歌ったりして、「椰子の実」のリズム、旋律、強弱の知覚・感受を深める。</li> <li>・ 歌詞の内容や抑揚、旋律の音の高低などを基に、曲想について自分の考えをまとめ、ワークシートに書く。</li> </ul>	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」の表情や味わい、歌詞が表す情景や心情などを生かした楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、自己の表現意図をもつ。</li> <li>・ 3人のグループをつくり、各自が「椰子の実」の1～3番のいずれかを歌うこととし、自分が歌う歌詞をワークシート中の楽譜に書き入れる。</li> <li>・ 「椰子の実」にふさわしい表現について、リズム、旋律、強弱に着目して考え、グループ及び個人で歌唱表現を試行錯誤する。</li> <li>・ グループとして目指す表現を話し合い、ワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートを参考にして「椰子の実」にふさわしい言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して歌いながら、自分はどうのように歌いたいかの表現意図について、ワークシート中の楽譜に書く。</li> </ul>	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループとして目指す表現や自己の表現意図を意識して、「椰子の実」を歌う。</li> <li>・ 楽譜やワークシートに書いた内容を見てイメージを膨らませながら、発声、発音、呼吸法などの歌い方をいろいろ試し、「椰子の実」の歌唱表現について考える。</li> <li>・ 適宜、ワークシートに書いた内容を修正する。</li> <li>・ グループとして目指す表現や各自の表現意図などを端的に述べてから、グループごとに各自が1～3番のいずれかを独唱する形で通して歌い、学級全体で聴き合う。</li> <li>・ 演奏を振り返り、自己評価を簡潔に書くとともに、自分と同じところを歌った他の生徒の表現について、よいと思ったことをワークシートに簡潔に書く。</li> </ul>	<p>題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p> <p>学習活動は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時 間	学 習 活 動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受する。</li> <li>・ 既習曲である「浜辺の歌」を踏まえ、「椰子の実」を歌ったり聴いたりして、曲想、歌詞、音楽的な特徴について気付いたことを自由に話し合う。</li> <li>・ 歌詞を朗読し、言葉のリズムや抑揚を捉える。「ふるさとのきしをはなれて」の歌詞と旋律について気付いたことをワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートに書いたことを基に、学級全体で意見交換したり、実際に歌ったりして、「椰子の実」のリズム、旋律、強弱の知覚・感受を深める。</li> <li>・ 歌詞の内容や抑揚、旋律の音の高低などを基に、曲想について自分の考えをまとめ、ワークシートに書く。</li> </ul>										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「椰子の実」の表情や味わい、歌詞が表す情景や心情などを生かした楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、自己の表現意図をもつ。</li> <li>・ 3人のグループをつくり、各自が「椰子の実」の1～3番のいずれかを歌うこととし、自分が歌う歌詞をワークシート中の楽譜に書き入れる。</li> <li>・ 「椰子の実」にふさわしい表現について、リズム、旋律、強弱に着目して考え、グループ及び個人で歌唱表現を試行錯誤する。</li> <li>・ グループとして目指す表現を話し合い、ワークシートに書く。</li> <li>・ ワークシートを参考にして「椰子の実」にふさわしい言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して歌いながら、自分はどうのように歌いたいかの表現意図について、ワークシート中の楽譜に書く。</li> </ul>										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループとして目指す表現や自己の表現意図を意識して、「椰子の実」を歌う。</li> <li>・ 楽譜やワークシートに書いた内容を見てイメージを膨らませながら、発声、発音、呼吸法などの歌い方をいろいろ試し、「椰子の実」の歌唱表現について考える。</li> <li>・ 適宜、ワークシートに書いた内容を修正する。</li> <li>・ グループとして目指す表現や各自の表現意図などを端的に述べてから、グループごとに各自が1～3番のいずれかを独唱する形で通して歌い、学級全体で聴き合う。</li> <li>・ 演奏を振り返り、自己評価を簡潔に書くとともに、自分と同じところを歌った他の生徒の表現について、よいと思ったことをワークシートに簡潔に書く。</li> </ul>										

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3		例えば、楽器の音に関しては、材質、形状、発音原理、奏法などの違いによる音色とその特質や雰囲気との関わりを理解させるような指導が考えられる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	各 10 × 2	20
		例えば、短い旋律やリズム・パターンを反復、変化させながら、ある程度の長さをもった音楽をつくったり、旋律やリズム・パターンを重ねながら、複数の声部による音楽をつくったりする過程で、音を出し、それを聴くことを通して、実感を伴って理解させるような指導が考えられる。			
4	1	歌唱， 器楽， 創作	順序は問わない。 3つとも合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	30
	(1)	その題材の学習において主として扱う音楽を形づくっている要素やそれらに関わる用語や記号などを共通に設定して、複数の領域や分野を関連させた一題材を構想したり、主として扱う音楽を形づくっている要素やそれらに関わる用語や記号などの一部を共通にして、学びの連続性や系統性などをねらって複数の題材の配列の仕方を工夫したりすること。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	10	
	2	(2) 例えば、旋律、強弱に着目し、旋律における音のつながり方や強弱の微妙な変化を知覚し、それらの働きによって生み出される表現の特質などを感じることによって、フレーズにふさわしい表現を工夫して歌うこと、また、音色、旋律に着目し、民謡の声の音色、音階、拍のない音楽の旋律などを知覚し、それらの働きによって生み出される独特の雰囲気などを感じることによって、追分様式の民謡の特徴を生かして歌うことなどが考えられる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	10	

1

1（4）

著作権保護の観点により、掲載いたしません。